

… 雨でも休まず；第123・124回 …
「若柳・嵐山の森」から

- 活動1：森林整備に重点：2月7日(第一土曜日)
 弁当持参、参加費300円
- 活動2：里山交流の活動：2月15日(第三日曜日)
 弁当は主食のみ持参、参加費500円、作業班は山奥に入るので弁当持参／参加費300円。会員以外は参加費700円。、
 * 同時開催：緑のダム体験学校：
 * 必ず申込必要、TEL & FAX 03-3411-1636
- 初参加者：相模湖駅前：9時15分まで待つ。8時42分、9時02分 JR高尾発
- 服 装；汚れても良い格好・着替え 等 足元が滑らない履物
- 持 参 品；万一の怪我に備えて…保険証写し。そして、作業を楽しむ“ゆとり”と怪我をしない「心構え」

2004年 かながわ森の広場(第4回)

1月24日、神奈川県主催、神奈川県林業関係6団体（森林組合連合会・林業協会・林野振興対策協議会・種苗協同組合・木材業協同組合連合会）共催によるシンポジウムが横浜駅西口、かながわ県民センターで開催された。午前中第一部は、[国際FSC（森林管理協議会）認証第1号]の速水林業：速水 享代表を招いて「環境に配慮した森林経営」と題して将来の目指すべき森林の在り方を聴いた。

午後の第二部分科会・第一部分科会で当会は、“森を活すために～NPOの出来ること～”をテーマに活動の2つの柱、「森をつくる／FSC活動、森を生かす／FCC事業」の内容発表を行った。“森をつくるなら、森をいかす経済性があってこそ健全な森林経営ができる”と主張する当会の実践現場を報告した。

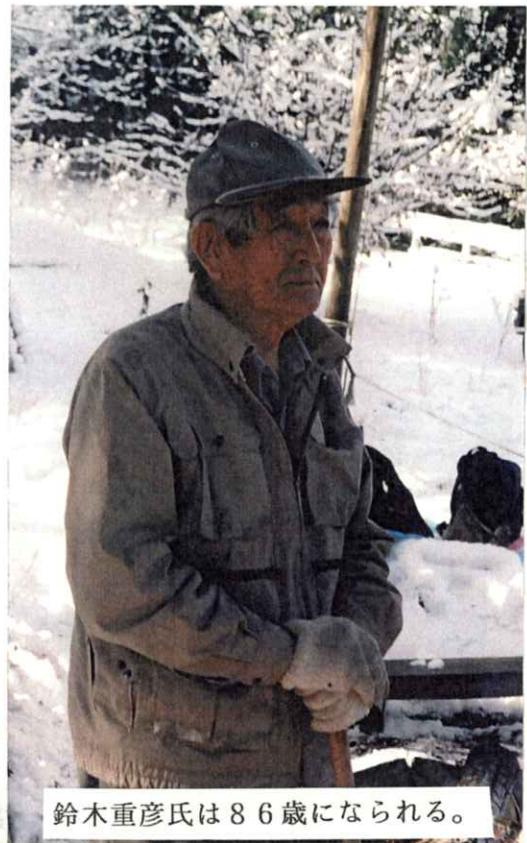
NPO活動は歴史も浅く未だ、世間に認知されていない故か会場では、「森林NPOは、そこまでやるのか」と驚きの声が聞かれた。その後、翌日・翌々日と活動に参加したい、活動を協働したいとの申出が続いている。

活動報告1：謹賀新年：里山交流の第三日曜日（1月18日）

前夜から雪になって交通を心配したが明けると快晴。いざと喜んで高尾のトンネルを抜けると相模湖町は一面の銀世界。34参加。

この雪では森林作業は先ず無理、とそれぞれ雪を楽しむ事としたが、恒例の森の神様とこの森を貸して鈴木様ご一家への新年のご挨拶は、いつもの事ながら身の引き締まる思いがする。

自由な行動と言うが、タチマチ2班が編成されて1班は、少しでも地域にお役にたてるならと町道の雪かき、もう1班は基地まわりの整備。



鈴木重彦氏は86歳になられる。



恒例：新春の森の神様へのご挨拶は、心洗われる。

鈴木家は、16代に渡ってこの地を守っている。ご先祖に江戸町三名奉行と言われる「根岸肥前守」を出し墓所もここに現存している。柳田国男の民俗学は、ここが発祥の地である。この鈴木家にご縁が有ったればこそ我々は、森林NPOの理想が追える。



鈴木重彦氏・ご子息の史比古(ヒヒコ)氏に新年の挨拶を受けて頂く。

昨年を振り返り今年の活動を予想する

新年会前の待機の時間を活用して会場ので石村がメモしたものを仲間たちに披露して承認を得た。

* 昨年実績

- 2月、甲州街道道標制作、相模湖町から受託／小仏～笛子峠：甲州古道復活に繋がる …加藤さん
県／企画部と「緑のダム体験学校」企画浮上 …斎藤さん
- 3月、突然に相模原市から消費者生活展参加要請：相模原近辺在住の森林仲間と参加
- 4月、活動の2本の柱決まる
• 森をつくる／FSC活動
• 森をいかす／FCC事業
- 5月、FCC事業／流域材活用講座開始：反響広がる …倉橋さん
- 6月、第一期通常総会
活動運営会始まる
- 7月、セブン－イレブンみどりの財団／協働事業開始
「甲州街道物語：連載」始まる …中里さん
- 8月、相模湖町活性化支援：早稲田町…相模湖町交流開始 …丸茂さん
- 9月、匠の会交流始まる。
- 10月、神奈川県森林組合連合会、津久井森林組合交流開始
- 11月、富村審査員、WWF前沢指導員によるFSC説明会
NHK取材；11月28日放映
- 12月、津久井行政センター：森林保全課主催／林業講習会共催

* 今年の予想

- 1、森林整備班：21林番の協力協約事業終了、22林番に進出か …園田さん
- 2、生態系調査班：篠田さんを中心としたFSC認証申請準備進む。 …篠田さん
- 3、緑のダム学校：県／企画部との共催拡大 …斎藤さん
- 4、甲州古道班：各町（相模湖町・藤野町・上野原町・大月市）を
繋いで小仏～笛子が本格化する。 …加藤さん
- 5、木質バイオマス：県／科学技術振興課との協働研究は、第2ステップ。 …須藤さん
- 6、間伐材活用班：兼松さん・大坪さんを中心に様々な工夫による商品開発
が具体化する。 …大坪さん
- 7、大月に統いて「鎌倉・森つくりの会」が立ち上がるか。 …兼松さん
- 8、県産材住宅班：これは困難を伴う大仕事、受注にこぎ着けたい。 …倉橋さん
- 9、定点養蜂班：日本蜜蜂の養殖販売と珍しい試みに取り組んでいる。 …西さん
- 10、造園班：町の人々（鈴木克江さんなど）と町の花一杯運動。 …丸茂さん

当会の仲間たちは、何と好奇心の強く多様な人々の集まりだろう。多様でも、思い付きで行動していない。森林・林業基本法の言う「森林の公益性と多様性」を具現化するためにそれを楽しんでいるのだ。心理学にマズローの五段階説のいうのがあるが人間の欲望の最も進んだ形が「自己実現の欲求」だそうでこの人たちは、私心を捨てて世の中にお役に立ちたい形をこのような活動で表現しているように思われる。

これらの活動は、「子孫に負の遺産を残さないため」に全員で助け合う善意で貫かれており、森林活動を楽しく意義あるものにするためにある。また、森林にお金を循環させるための試みでもある。当会は、税の一方的投入では森林の維持は、出来ないと一貫して主張している。これを実践・検証・証明し提言するために行動を起こしている。

新年会： 去年、見事に楽しい新年会を演出をしてくれた辻田さんと入江さんの進行司会で年間の活動に貢献した仲間の表彰は、裏方に徹して何時も美味しい昼食を準備してくれる「鍋奉行班」の女性方を中心に9名。この仲間たちは人知れず森の中のプレハブトイレの掃除もしてくれている。表彰式の後の全員参加の「今年の抱負」の中身は、当会の森林活動のレベルアップを体現していた。立去り難い新年会は時間延長して4時に散会した。散会したが、駅前で「カドヤ會議」に雪崩込んでいた。

活動報告2、県主催/かながわ森の広場：1月24日（第四土曜日）

これまで厚木市で実施していたが初めての横浜市で開催の由。午前の部では、国際FSC認証の速水林業（速水 享氏）を招いての横浜西口県民センターに約250名の盛大な参加となった。「環境に配慮した森林経営」と題した速水 享氏の基調講演は、格調高く“神奈川の森林”に求められる考えさせられる内容であった。午後は、2分科会に分かれて第一分科会「山づくりと県産材の利用」、第二部分科会「里山の手入れと森の恵み」

第一分科会「山づくりと県産材の利用」で当会は、展示物を含めて活動事例発表とパネラーを依頼されて事例発表の中では、「緑のダム体験学校：斎藤さん」、「間伐材活用事業：兼松さん」、「流域材住宅推進班：倉橋さん、栗原さん」、「木質バイオマス事業：須藤さん」の地に足の着いた活動は、まさか「森林NPOがここまでやるか」と会場から驚きの声で賞賛された。

会場で沢山の人々と交流する事になって当会の今後の活動に良い影響を与える事になる予感がする。
森林作業に特化している仲間には、申し訳ないが当会の方針として「全ての人々との協働」であるからこここの所は、協力して欲しい。

我々の森で新月の木を切った斎藤さんや兼松さんが、アルビン・トーマの「木とつきあう知識：新月の木」翻訳者：宮下千恵子さんと意見の交換をしていた。

森林仲間が総勢14人



上：速水 享さんの基調講演
環境に配慮した森林経営

左：須藤 章さんの木質バイ
マス熱源開発の説明

も駆け付けてくれて当会の活動が、森の中だけで無くなつた事を実感した。

会場のいろんな意見から「県行政が一般市民にここまで踏み込んで来てくれた」評価も高い反面、森林と言う重要な課題に対して責任者の影の見えない不満が会場でも後日の電話でも寄せられた。市民グループの中では、今回の企画について県の対応が賛否に別れたが、もう少し踏み込んで欲しかった。

… 県／森の広場で紹介した …

兼松さんが間伐材で作った雛人形



・その他の報告

1、富村F S C審査員訪問／1月20日

予備審査申請が日程に入って来た事からこれを担当してくれている篠田授樹さん

と富村さんに手続上の相談に訪問した。これまでの足掛け4年間の目標を持って進めた活動から殆どの認証条件は、満たしているとの事であるが万全を期して更に掘り下げる事とした。富村さんは、審査員であるから審査に影響のある話しさはできないと言う事で他の認証を受けた団体を参考にする事として昨年、相談した東京農工大に相談する事とした。また、認証機関には4機関あり夫々に特徴があるので、何処にお願いするかを比較検討する事にした。関連して…、

□先ず、認証機関S A（アミタ訪問）：1月27日

篠田授樹さんにお願いしているF S Cの準備手配は、着々と進んでおり富村さんとの相談で先ず認証機関の一つであるS Aアミタを千代田区三番町に訪ねた。ここでは、認証に必要な手続きについて打ち合わせた。

□認証を受けている東京農工大（岸研究室訪問）：同日／27日

岸先生とは昨年、お近付きになってご指導をお願いしていたが、取組の実際を指導して頂くために斎藤さん、篠田さんを交えて訪問した。岸先生のご指導は、F S Cガイドラインの10の原則56の細則の細部に沿って微にいり細入りのご指導であった。認証を受ける事の大変さと森林との付き合いの意味を改めて知る事となった。

また、認証には費用もかかるが厚かましくもこの件でもご協力を願いしたが、「民間人による民有林の認証は例がなく社会的にも大きな意義がある」と快く引き受けた下さった。

2、相模湖町～早稲田商店会交流／1月18日

・地域活性化事業として丸茂さんを窓口に取り組んでいる「相模湖町～早稲田商店会／交流事業シンポジウム」は、わが国で最も元気な早稲田商店会の安井会長を招いて相模湖町商工会主催により「相模湖交流センター」で開催した。安井会長の“涙あり、笑いあり、苦難の波あり、成功的喜びあり”の町の活性化のノウハウエキスに当会の姿をダブらせた。

・町の住人でも商工会会員でもないのに森林N P Oは、二次会懇親会にシャシャリ出たが「良く来てくれた、良く来てくれた」溝口町長や安井会長を挟んでと記念写真を取る始末。相模湖町と当会がこんな事のできるのも町から信頼されている証しとも思われて嬉しい。善意と誠実の森林N P Oのなればこそ許される現象だが、それに甘えまい。

甲州古道：小原宿地名の由来

古書「新編相模国風土記稿」の与瀬村藏王社（神仏混交時代の与瀬神社）の稿に「大和国ヨリ遷座セシム、且コノ辺リニ吉野、与瀬、小原ナデジト云フ地名モ彼地ヲ模シタルモノナリと云フ」と記されています。

およそ1200年前、天台宗の僧隆弁僧正が諸国遍歴の途路、この付近が京都の八瀬、大原に似通うため、八瀬をとって「与瀬」大原をとって「小原」の地名を名付けたと言われます。往時から与瀬と小原は一村を成していました。

小原が似通う大原は、京都左京区の北東部、比叡山の西山麓を流れる高野川の上流に位置した小さな盆地です。本来は「おはら」と言い、「小原」と書いたとも言われます。古くから八瀬の黒木と共に、京の都の薪炭の供給地でした。小原も昔から深い後背地の山地を利用した薪炭の供給地でした。従って、大原も小原も共に地形的にも生業的にも共通しています。

他の一説にも「みもと」（甲州街道を記録した資料）によると「尾原（おはら）」と書き、「尾原」と言うのは、この嶺（小仏峠）の尾先にて、下りはてるところにすこしひらけたれば、名におうけり」と記している。

この地勢に所以している「尾原」が小原とかくようになったのは何時のことか定かで無いが、前述の大原因縁説を考えると古くから小原の字が宛てられたと考えられます。小原宿の地名について京との大原に模して名付けた因縁説と小仏峠から尾を引く小さな原の「尾原」が「小原」になった地勢説の両説を以て地名の由来にします。

なお、甲州古道プロジェクトは今回は笛子峠に行きました。その折、甲州道中に現存する三軒目の笛子宿の本陣（天野家）を見学しました。（文責 中里）

後記 1月後半に入つて突然、忙しくなつて月次ニュースレターに手が回らなくなつてしまつた。やつと月末に間に合わせたが、2月に入つての予定が目白押しになつてゐる。活動の内容が森の外に広がつてゐるが当会の活動の原点・眞実は、あくまでも森の中にあることは言うまでもない。

- 1) 2月7日(第1土曜) 森林整備
作業終了後運営会・FSC説明会

- 2) 2月15日(第3日曜) 里山交流
・苗木の始末に取り掛かる
・倒木の搬出もしたい。
・緑のダム体験学校

H P : h t t p : / / w w w 0 0 8 . u p p . s o - n e t . j p / k i t a s a m i

モットー／休まず、無理せず、急がず、楽しく、ボチボチと
そして、沢山のご意見、参加下さい。

名 称／さがみ湖・森つくりの会(NPO法人檍のダム北相模/森林部会)

事 務 局／〒154-0023 世田谷区若林3-35-9

T & F 03-3411-1636

協働団体／セブン-イレブンみどりの基金